

入場行進で感じたこと

今日 2 回目の入場行進練習を行いました。



入場行進については、熱中症防止や集合時の密を避ける観点から取りやめるかグラウンドを 1 周歩かないで開会式の場所に移動するのはどうかと職員で話し合いをしました。



その中で入場行進をやろうと決めた理由は、これまで保護者の方より寄せられていた「子どもたちの歩く姿に昨年からの成長を感じました」「小さかった子たちがもう 6 年生。一人ひとりの顔がみられて嬉しかったです」など入場行進を子どもたちの成長を実感する場と捉えてくださっている方々の声でした。練習前には担当がこうした声を全校生に紹介し、「思いにこたえる姿をみせられるように練習に取り組んでほしい」と伝えていました。



運動会自体は学習指導要領に



示されている体育的行事のねらいに即して行うわけですが、一つ一つの種目の価値づけやねらいを子どもたちと共有することが大事だと改めて感じました。



また、給食時には、今日の入場行進や演技の動画を観ながら各自が振り返りを行っていました。夏休み中に先生方と「自走する児童像」について話し合いをした時に、高学年になると「何のためにその学習をするのか自分なりに理解していることって大事なことだよ

ね」だから、「子どもたちが今自分に何が必要なのかや、足りないものを考えさせる時間を取るようにしていこう」と話し合っていました。動画で自分たちの姿を見返す活動を通して「自分で考えて行動する力」がさらに高まることを願っています。